

## 現状と課題

### 我が国における3Rの進展

- ・ 3Rの取組の進展、個別リサイクル法の整備等により最終処分量の大幅削減が実現するなど、循環型社会形成に向けた取組は着実に進展。

### 循環資源の高度利用・資源確保

- ・ 国際的な資源価格の高騰に見られるように、世界全体で資源制約が強まると予想される一方、多くの貴金属、レアメタルが廃棄物として埋立処分。

### 安全・安心の確保

- ・ 東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う国民の安全、安心に関する意識の高まり。

### 世界規模での取組の必要性

- ・ 途上国などの経済成長と人口増加に伴い、世界で廃棄物発生量が増加。そのうち約4割はアジア地域で発生。2050年には、2010年の2倍以上となる見通し

## 新たな目標

- ・ より少ない資源の投入でより高い価値を生み出す資源生産性を始めとする物質フロー目標の一層の向上

	H12年度	H22年度	H32年度目標
資源生産性 (万円/トン)	25	37	<b>46</b> (+85%)
循環利用率 (%)	10	15	<b>17</b> (+7ポイント)
最終処分量 (百万トン)	56	19	<b>17</b> (▲70%)

( )内はH12年度比

## 第三次循環基本計画における基本的方向

### 質にも着目した循環型社会の形成

- ① リサイクルより優先順位の高い2R(リデュース・リユース)の取組がより進む社会経済システムの構築
- ② 小型家電リサイクル法の着実な施行など使用済製品からの有用金属の回収と水平リサイクル等の高度なリサイクルの推進
- ③ アスベスト、PCB等の有害物質の適正な管理・処理
- ④ 東日本大震災の反省点を踏まえた新たな震災廃棄物対策指針の策定
- ⑤ エネルギー・環境問題への対応を踏まえた循環資源・バイオマス資源のエネルギー源への活用
- ⑥ 低炭素・自然共生社会との統合的取組と地域循環圏の高度化

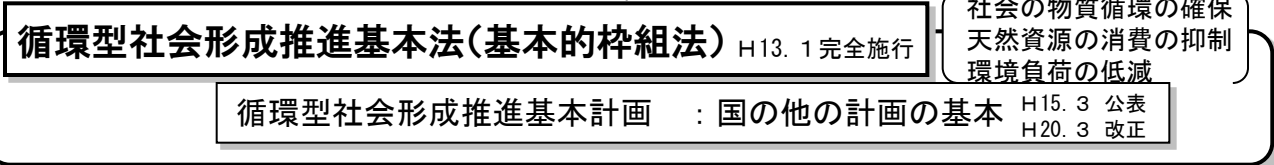


### 国際的取組の推進

- ① アジア3R推進フォーラム、我が国の廃棄物・リサイクル産業の海外展開支援等を通じた地球規模での循環型社会の形成。
- ② 有害廃棄物等の水際対策を強化するとともに、資源性が高いが途上国では適正処理が困難な循環資源の輸入及び環境汚染が生じないこと等を要件とした、国内利用に限界がある循環資源の輸出の円滑化。



# 循環型社会を形成するための法体系



< 廃棄物の適正処理 >

< 再生利用の推進 >

**廃棄物処理法** H22. 5 一部改正

- ① 廃棄物の発生抑制
- ② 廃棄物の適正処理（リサイクルを含む）
- ③ 廃棄物処理施設の設置規制
- ④ 廃棄物処理業者に対する規制
- ⑤ 廃棄物処理基準の設定 等

**資源有効利用促進法** H13. 4 全面改正施行

- ① 再生資源のリサイクル
- ② リサイクル容易な構造・材質等の工夫
- ③ 分別回収のための表示
- ④ 副産物の有効利用の促進

リデュース  
 リサイクル → リユース  
 リサイクル  
 (1R) (3R)

〔 個別物品の特性に応じた規制 〕

**容器包装  
リサイクル法**



H12.4 完全施行  
H18.6 一部改正

〔 びん、ペットボトル、紙製・プラスチック製容器包装等 〕

**家電  
リサイクル法**



H13.4 完全施行

〔 エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機 〕

**食品  
リサイクル法**



H13.5 完全施行  
H19.6 一部改正

〔 食品残さ 〕

**建設  
リサイクル法**



H14.5 完全施行

〔 木材、コンクリート、アスファルト 〕

**自動車  
リサイクル法**



H17.1 本格施行

〔 自動車 〕

**小型家電  
リサイクル法**



H24.8 公布

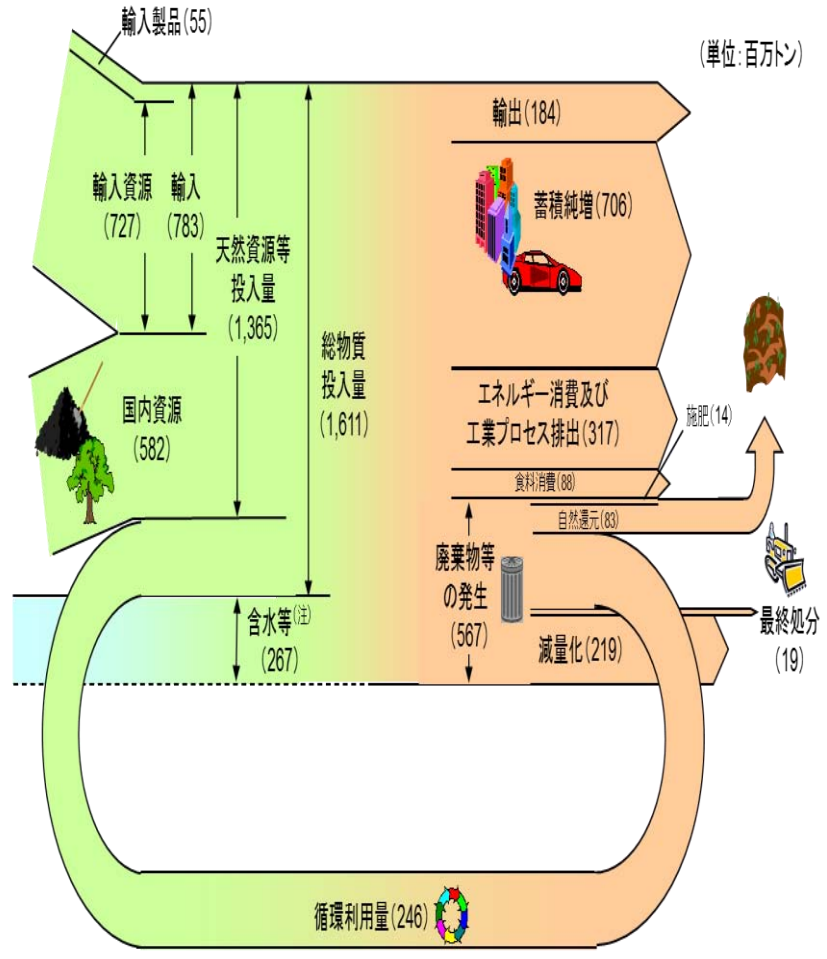
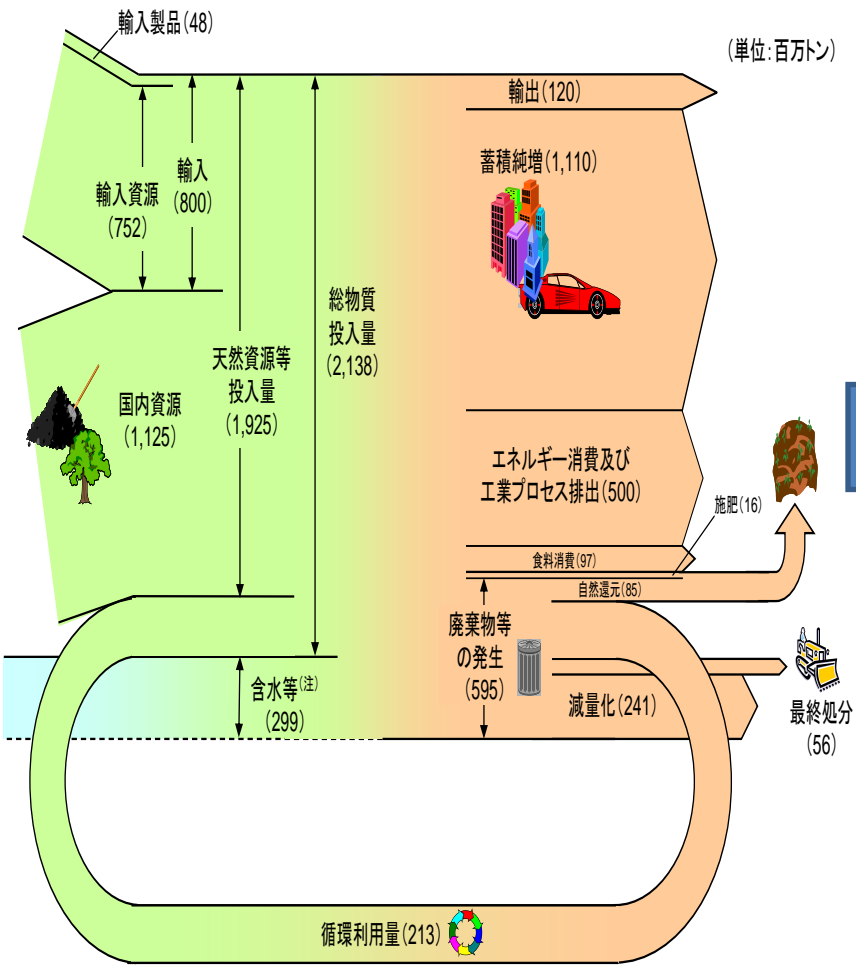
〔 小型電子機器等 〕

**グリーン購入法(国が率先して再生品などの調達を推進)** H13. 4 完全施行

# 我が国における物質フロー(全体)

平成12年度

平成22年度



(注)含水等：廃棄物等の含水等(汚泥、家畜ふん尿、し尿、廃酸、廃アルカリ)及び経済活動に伴う土砂等の随伴投入(鉱業、建設業、上水道業の汚泥及び鉱業の鉱さい)

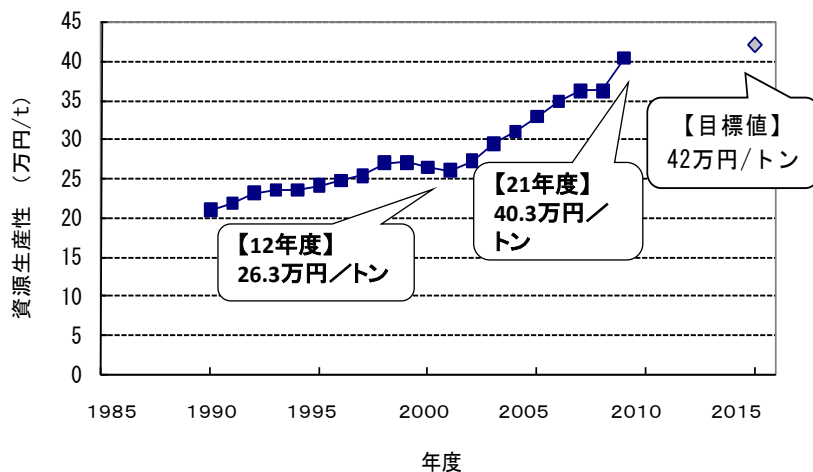
(注)含水等：廃棄物等の含水等(汚泥、家畜ふん尿、し尿、廃酸、廃アルカリ)及び経済活動に伴う土砂等の随伴投入(鉱業、建設業、上水道業の汚泥及び鉱業の鉱さい)

(注)含水等：廃棄物等の含水等(汚泥、家畜ふん尿、し尿、廃酸、廃アルカリ)及び経済活動に伴う土砂等の随伴投入(鉱業、建設業、上水道業の汚泥及び鉱業の鉱さい)

# 物質フロー指標の進捗状況

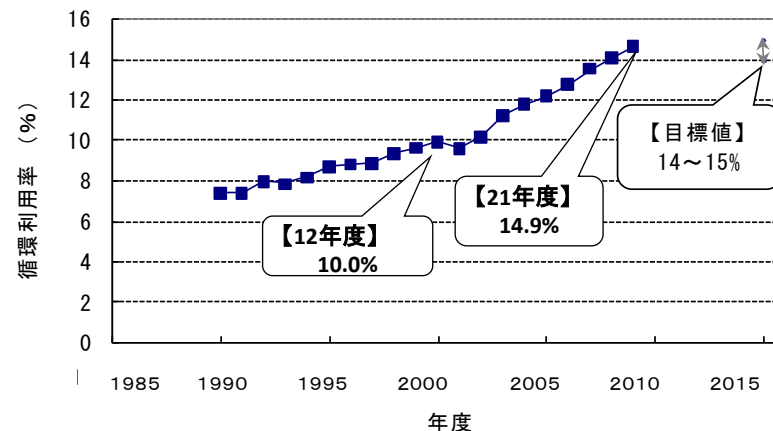
## 「入口」: 資源生産性

GDP / 天然資源等投入量



## 「循環」: 循環利用率

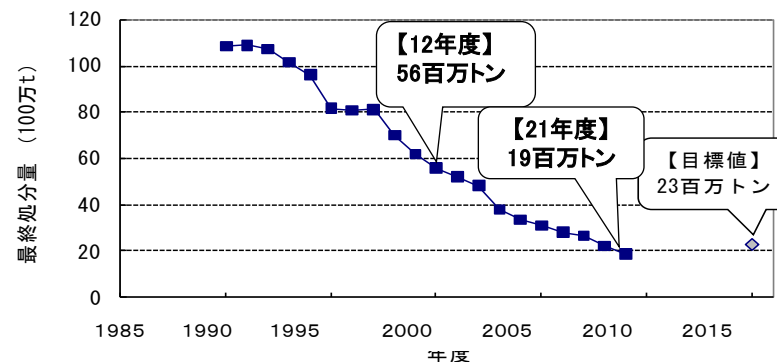
循環利用量 / (循環利用量 + 天然資源等投入量)



## 各指標は目標に向けて順調に進捗

	12年度 【基準年】	21年度(12年度比)	27年度 【目標年】
資源生産性 (万円/トン)	26.3	40.3 (+53%)	42
循環利用率 (%)	10.0	14.9 (+4.9ポイント)	14~15
最終処分量 (百万トン)	56	19 (▲67%)	23

## 「出口」: 最終処分量



## 2Rの推進・循環資源の利用の高度化

○ リサイクルに比べて、これまで取組が遅れていた2R(リデュース・リユース)を推進するとともに、リサイクルについても水平リサイクルなどの高度化を進める。

- ☑ 国民・事業者が行うべき2R(リデュース・リユース)の取組を制度的に位置付けることを検討。
- ☑ リユース事業者の法令遵守体制の徹底など消費者が安心してリユース品を利用できるような環境を整備
- ☑ リサイクルも含めて、事業者や消費者が実際に取り組むことができる3R行動とその効果をわかりやすく情報提供

3R行動の環境負荷削減効果の見える化

**ノントレーなら 家族も笑顔。地球も笑顔。**


**保存もカンタン、かさばらない。**

ノントレー商品は、お買い物後も持ち運びがラク! 家で、そのままスッキリ冷凍保存できる!



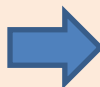
**ゴミを減らして、CO<sub>2</sub>も減らせる。**

ノントレー商品は、ゴミが減る! 手間が減る! CO<sub>2</sub>も減って地球にやさしい!



1家族あたりのトレー消費量を1枚/日とすると	
廃棄物 <b>1.35 kg</b> 削減/年	ゴミ袋 (30ℓ) <b>10</b> 袋分 削減/年

トレー



ノントレー(ポリ袋)



- ☑ 平成25年度から新たに始まる小型家電リサイクル制度の参加・回収率の向上を目指し、①地方公共団体等の支援、②普及啓発、③各主体の連携促進を実施
- ☑ レアメタル等の回収量の確保やリサイクルの効率性の向上に向けた取組を進める

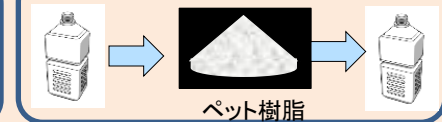


- ☑ リサイクルを行いやすくするよう、原材料の表示、部品のユニット化等の製品設計段階の取組を促進
- ☑ 使用済製品については、より広域でのリサイクルを念頭に製品の製造業者等が回収する廃棄物処理法の広域認定制度等を適切に活用。
- ☑ 使用済製品を原料として同一の種類の商品を製造する高度で高付加価値な水平リサイクルなどの普及に向けた技術開発

一般的なリサイクル



水平リサイクル

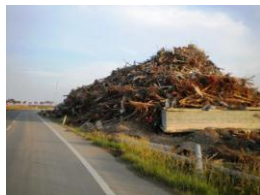


# 安全・安心の取組強化

- 大規模災害時においても円滑に廃棄物の処理を実施できる体制の整備を構築する。
- 有害物質をしっかりと処理した上での循環資源の利用、有害物質情報に関する情報共有・意思疎通など、安全・安心の取組を強化する。

## 震災・原発事故の与えた影響

- ・ 東日本大震災は、大量の災害廃棄物の処理を課題として突きつけるなど、豊かな恵みをもたらす自然は、時として大きな脅威となって立ちはだかるものであることを改めて示した。
- ・ 福島第一原子力発電所の事故より、放射線物質によって汚染された廃棄物が原子力発電所の敷地外で発生するという、これまで予想していなかった事態が生じ、国民の安全、安心に関する意識に大きな高まり。



## 災害時の災害廃棄物処理システムの強化

- ☑ 東日本大震災における対応について、反省点を含め、しっかり分析するとともに、災害の被害規模の段階や状況に応じた対策をとれるよう、現行の震災廃棄物対策指針を全面的に見直し、新たな指針を策定する。
- ☑ 大規模災害時に、災害廃棄物を円滑に処理することができるよう、広域的な協力を含め、①地方公共団体間の連携の促進、②民間事業者等との連携、③仮置場の確保を促す。
- ☑ 大規模災害が発生した際には、地方公共団体等の各主体と十分な連携を図りつつ、各主体への支援を適切かつ迅速に実施する。



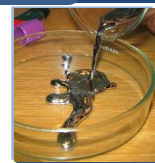
## 有害物質をめぐる情勢

- ・ 長期保管されているPCB廃棄物について、一刻も早い処理完了に向け、体制充実を図る必要。
- ・ 国際化学物質管理会議(ICCM)で採択された国際的な化学物質管理のための戦略アプローチ(SAICM)において、電気電子製品のライフサイクルにおける有害物質の管理が新たな課題とされた。



## 有害物質を含む廃棄物等の適正処理システムの構築

- ☑ アスベスト、PCB等の有害物質を含むものについて、適正な管理・処理が確保されるよう、その体制の充実を図る。
- ☑ 水銀条約の制定に向けた国際条約の進展を踏まえ、水銀廃棄物の環境上適正な管理・処分等のあり方について検討を進める。
- ☑ 有害物質情報について、国際的動向を含めて情報交換を行うとともに、関係者間での情報共有・意思疎通が図られるよう、リスク・コミュニケーションを的確に実施する。



# 低炭素社会、自然共生社会づくりとの総合的取組

○ 循環型社会づくり、低炭素社会づくり、自然共生社会づくりを統合的に進める中で、各主体の連携により地域循環圏の形成・高度化を目指す。

## 循環資源・バイオマス資源のエネルギー源への活用

エネルギー・環境問題に対応をすべく、分散型電源であり、かつ、安定供給が見込める循環資源・バイオマス資源の熱回収がエネルギー供給源として果たす役割が増大。

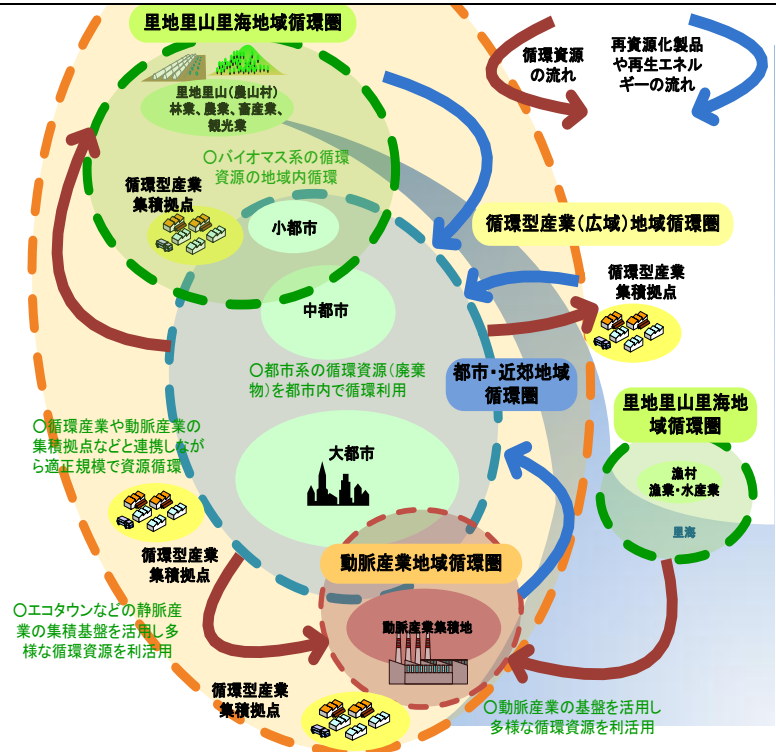
- ☑ 高効率廃棄物発電施設の早期整備、廃棄物発電における固定価格買取制度(FIT)の活用可能性を高めるための環境整備を実施。
- ☑ 焼却施設や産業工程から発生する中低温熱について、地域冷暖房に活用するなど有効利用を進める。
- ☑ バイオ燃料の生産拡大、生ごみ等のメタンガス化、間伐材等の木質ペレット化等を進める。
- ☑ 資源採取時の生物多様性や自然環境への影響を削減する観点からも、資源の有効的利用や長期的利用を進め、新たな天然資源の消費の抑制を図る。
- ☑ 自然界での再生可能な資源の持続可能な利用を推進するため、バイオマス資源の利活用を推進する。



## 地域循環圏の高度化

### 地域循環圏とは

- ・ 地域や循環資源の特性に応じて、最適な規模の循環を形成することが重要。
- ・ 地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、それが困難なものについては循環の環を広域化させ、重層的な地域循環を構築していくという考え方。



## 3R国際協力の推進と循環資源の輸出入に係る対応

○ アジアにおける循環型社会構築に向けて3R国際協力と我が国循環産業の海外展開を一体的に推進するとともに、環境負荷低減や資源の有効利用に資する場合には、循環資源の国際移動手続の円滑化等を実施。

### 3R国際協力と循環産業の海外展開支援の推進

- ☑ 我が国とつながりの深いアジア各国において循環型社会が形成されるよう、アジア3R推進フォーラムなどを通じて、情報共有や合意形成を推進する。
- ☑ アジア各国に適合した廃棄物・リサイクル制度が定着するよう、3R国家戦略等策定支援、法制度整備、専門家の派遣、研修生の受入拡大を図る。
- ☑ アジア各国における廃棄物・リサイクル技術向上と我が国経済の発展に資するため、我が国循環産業(廃棄物・リサイクル産業)の海外展開を支援する。
- ☑ UNEP等の国際機関の活動に積極的に参画し、3R・廃棄物処理に関する我が国の最新の知見の取組を反映させる。



アジア3R推進フォーラム

### 循環資源の輸出入に係る対応

- ☑ 有害廃棄物等の国際移動による環境汚染を防止するため、関係国・関係機関との連携強化等により、水際対策を強化する。
- ☑ 途上国では適正な処理が困難なものの我が国では処理可能な国が廃棄物等を受け入れ、途上国における環境・健康への悪影響の低減と資源としての有効利用を図る。
- ☑ 国内での利用に限度があり、環境汚染が生じないこと等の要件を満たす循環資源の輸出の円滑化を図る。





# 中環審循環型社会計画部会での審議経緯

## < 平成24年 >

- |        |         |                           |
|--------|---------|---------------------------|
| 5月25日  | 循環部会(1) | 第3次計画策定のための具体的指針のとりまとめ    |
| 6月28日  | 循環部会(2) | ヒアリング①(地方公共団体)            |
| 8月 9日  | 循環部会(3) | ヒアリング②(事業者等)              |
| 9月 7日  | 循環部会(4) | ヒアリング③(関係省庁等)             |
| 9月19日  | 循環部会(5) | ヒアリング④<br>第3次循環計画案に関する議論① |
| 10月11日 | 循環部会(6) | 第3次循環計画案に関する議論②           |
| 11月 7日 | 循環部会(7) | 第3次循環計画案に関する議論③           |
| 12月21日 | 循環部会(8) | 第3次循環計画案に関する議論④           |